

平成21年度
筑波大学法科大学院
[ビジネス科学研究科法曹専攻]
(専門職学位課程) 入学試験

論文試験問題

(150分)

受験番号	氏名

注意事項

- 1) この問題冊子の表紙に、受験番号、氏名を記入してください。
- 2) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 3) 試験開始後、この問題冊子が1～15頁であること、答案用紙が5枚（1枚目；問題I-1、2枚目；問題I-2・3、3枚目～4枚目；問題II-1、5枚目；問題II-2）あることを確認してください。
- 4) 試験開始後、5枚の答案用紙それぞれに、受験番号を記入してください。
- 5) 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。消しゴムを使用することができます。
- 6) 下書きは問題冊子の2頁及びその他の頁の余白、裏面を適宜利用してください。
- 7) 問題冊子は持ち帰ることができません。答案用紙とともに提出してください。
- 8) 試験開始後30分間、試験終了前10分間は、退出できません。

問Ⅰ 以下の文を読んで次の問いに答えてください。(配点40点)

(Ⅰ-1)

筆者のいう「現代の『孤立貧』の底知れなさ」(下線部分)とはどういうことか。
あなたの理解を、箇条書きで(①… ②… ③… ④…のように番号を付して)、論理的に整理して記載してください。(配点20点)

(Ⅰ-2)

「われわれは公民として病みかつ貧しいのであった」(下線部分)とは、どういう趣旨か。あなたの理解を50字以内で記載してください。(配点10点)

(Ⅰ-3)

「現代の『孤立貧』」に対し、どのように対処したらいいのか。あなたの考えを自由に述べてください。(配点10点)

[問Ⅰの文]

出典；驚田清一「底知れない『孤立貧』」(2008年7月17日付朝日新聞朝刊)

(※問題文の掲載を省略します。)

問Ⅱ 以下の文を読んで以下の問いに答えてください。(配点60点)

(法律の専門的知識を問うものではありません。)

(Ⅱ-1)

本論文において、弁護士サービスの市場化というテーマに関連して、筆者は、「市場の否定」という概念を3つの異なった意味で使用している。筆者のいう「市場の否定」というのはどのようなものか、その内容について答案用紙(3頁, 4頁)2枚以内で説明してください。(配点40点)

(Ⅱ-2)

映画「赤ひげ」に登場する医師のように自らは清貧に甘んじつつ、弁護士のサービスを必要とする者はすべて引き受け、時に必要な収入を捻出するために金持ちからは思い切って高額な費用を絞り取るといった姿勢は、ヒューマニズムにあふれ、強い感動を覚えると筆者は述べているが、弁護士の市場化が進んだ場合、赤ひげのような弁護士の将来はどのようなになると思うか、あなたの意見を述べてください。(配点20点)

[問Ⅱの文]

出典； 棚瀬孝雄「プロフェッションの理念と市場の論理」宮沢節生ほか編『法社会学コロキウム — 石村善助先生古稀記念論文集』(日本評論社、1996年) 231頁。

(*問題文の掲載を省略します。)